

プログラミング × ビジネス力

180

時間・場所・お金の不安から解放され、
自由に働く7つのステップ

180日でITエンジニア になる方法

- ◎自由や高収入を得るための具体的な道のり
- ◎初学者が陥りがちな罠を回避する方法
- ◎データに基づく学習ステップ

技術者100人のIT企業代表を努め、
現在登録者12万人超のエンジニアが語る

最速のルート

豪華
特典付き

【無料】 個別キャリア相談のご紹介

【あなたに最適なキャリアプランを30分で考えます】
全くの初心者でも問題ありません。

あなたの悩みや状況をヒアリングさせていただき、
プログラミング学習やエンジニア転職について、
ロードマップを計画するお手伝いをします。



お申し込み

費用：無料

時間：30 - 45分

QRコードを読み取るか「お申し込み」ボタンを押すと
カレンダーが表示されるので日程調整をしてください。

「自分にもできるだろうか？」
「転職活動が不安...」

...などなど。悩んでいる方はぜひ一度ご参加ください◎
お話できることを楽しみにしています！

勝てる エンジニア転職。

- ✓ ビジネス戦闘力の高いIT人材へ
- ✓ 開発スキル～転職までをフルサポート



『プログラミング・ゼミ SiiD』のご紹介

私が代表を務める「プログラミング・ゼミ SiiD」では、
本書でご紹介するようなエンジニアに必要な
「技術力、コミュニケーション力、転職対策支援」 のカリキュラムを
社会人の方・学生の方向けに提供しています。

また経済産業省によるリスキル認定講座でもあるため、
この制度を利用すれば受講料を50~80%抑えての受講が可能です。

<https://bug-fix.org/siid>

目次

- はじめに
 - エンジニアになって自己実現を叶える人たち
 - まだまだエンジニアは需要が高く、手に職がつけられる！
 - 時間・お金・場所…目的別に理想のエンジニアになる方法
- 第1章 エンジニアになるまでの全体像
 - 180日間の大まかな流れ
 - エンジニア転職は誤解だらけ。いつまでも成功しない人の特徴
- 第2章 ロードマップ序盤（1~11日目）
 - Step 1. 業界やエンジニアについて理解する（1日目）
 - Step 2. 基本的なICTスキルを身につける（2~10日目）
 - Step 3. 学習する技術を選ぶ（11日目）
- 第3章 ロードマップ中盤（12~90日目）
 - Step 4. Webブラウザ上でプログラミングチュートリアルを一周する（12~30日目）
 - Step 5. システムを作ってみる（31~90日目）
- 第4章 ロードマップ終盤（91~180日目）
 - Step 6. ポートフォリオを作る（91~120日目）
 - Step 7. 就職対策・活動を行う（121~180日目）
- 第5章 初心者が陥りがちなよくある間違い
 - 1. 学習すべき技術を絞る。浮気しない
 - 2. 転職サイトは適切に選ぼう
 - 3. 悪徳SESに騙されないようにする
 - 4. 未経験のうちは人材エージェントは使わない
 - 5. 副業したい場合でもまず就職しよう
- 第6章 エンジニアになった後…
 - まずは実績を積むことが最優先
 - 実績を積んだ後は引く手あまた！
- さいごに
 - 著者紹介

はじめに

様々な働き方やエンジニアの仕事を知り、
理想のゴールを描こう



はじめに

この本を手に取ってくれたあなたは、おそらく「もっと自由に働きたい」「時間に縛られない生活を送りたい」「手に職をつけたい」と願っているのではないでしょうか？

あるいは「海外で働きたい」だったり「独立して事業を起こしたい」などの想いもあるでしょう。その方法として、プログラミングスキルを習得してエンジニアになる選択肢を考えられている…。

その発想は正しいです！実際私はエンジニアとして働いていますが、そういったしがらみを現在感じることなく楽しく日々を過ごせています。これまで12年のキャリアの中で、海外で働いたり、経営者になったり、旅をしながら働いたこともありますが、ありがたいことにこれまで仕事に困ったことは一度もありません。

エンジニアになって自己実現を叶える人たち

これは私に限った話ではなく、これまで私が関わってきた教え子たちや、他のエンジニアたちも同じような道を歩んでいます。

＜具体例＞

- ✓ 地方学生から新卒でGAFAの海外拠点にエンジニアで就職した教え子Kさん
- ✓ 海外と日本を行き来し、本業+副業でWeb制作を受けている教え子Uさん
- ✓ うつ病を克服し未経験から地方のWeb企業にエンジニア転職した教え子Aさん
- ✓ UberEats配達のアルバイトをしながら勉強を続け、未経験から都内Webエンジニアに転職した教え子Eさん
- ✓ 東京水準の賃金を稼ぎつつ、九州地方からフルリモートで働くメガベンチャー勤務の友人Oさん

- ✓数年間正社員で働いた後独立し、日本と海外を行き来しながらフリーランサーで働く友人Wさん

…など。このような成功例が多いことからも、エンジニアは需要が高く、融通の効く働き方がしやすい選択肢だと言えます正しい学習と準備をすれば、誰でもエンジニアとして活躍することが可能です。

まだまだエンジニアは需要が高く、手に職がつけられる！

収入面でもエンジニア職は高収入で安定しています。日本の年収は全国平均で約460万円(※¹)ほどですが、エンジニアの平均年収は約600~800万円(※²)と、300万円以上高い位置にあります。

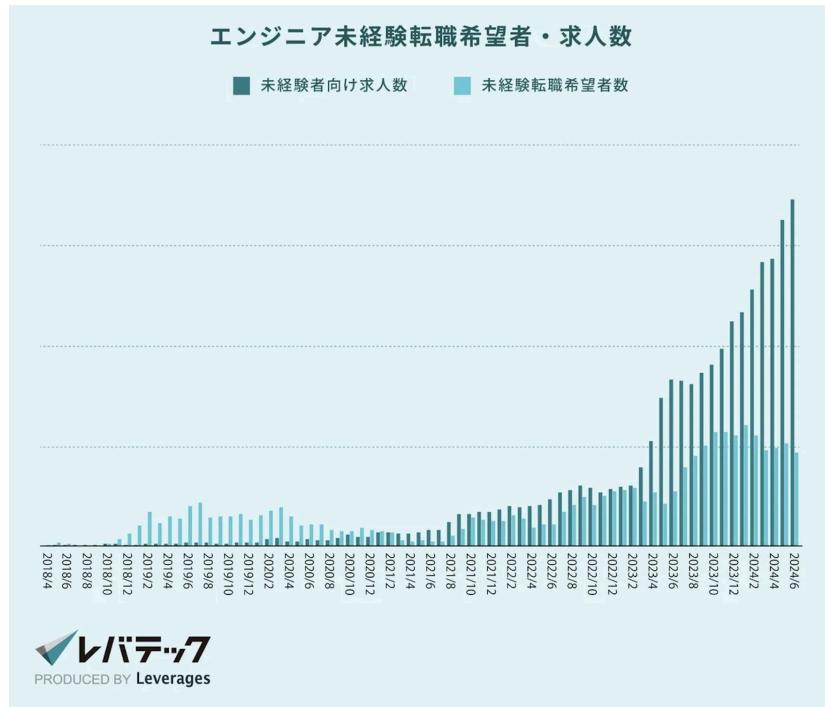
近年ではAIの登場やプログラミングブームによる人口増加により、今から未経験エンジニアの就職は無理なのでは？などという声もあります。が、実際のデータではむしろ増加傾向にあり、未経験可のエンジニア求人は毎年過去最高の求人数を更新しています。
(※³)

¹ ※ 厚生労働省(2023年)「賃金構造基本統計調査」<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/chinginkouzou.html>

² ※ レバテックキャリア(2024年)「フロントエンドエンジニアの年収は低い？年収アップのポイントも解説」<https://career.levtech.jp/guide/knowhow/article/877>

レバテックキャリア(2024年)「サーバーサイドエンジニアの年収実態！仕事内容や転職のポイント」<https://career.levtech.jp/guide/knowhow/article/817>

³※ レバテック(2024年)「フリーランス案件発生数が前年同月比146%で過去最高「セキュリティ」人材需要高まる」<https://levtech.jp/partner/guide/research/detail/287/>



さらに政府の後押しもあります。2022年には政府が「社会人のリスキリングに1兆円投資する！」と宣言したことが話題になりましたが（※⁴）、そうした援助が充実したおかげで安価に学びやすい環境が整ってきました。実際、私が運営しているプログラミングスクールもこの制度を利用して受講費の50~80%オフで受講できます。

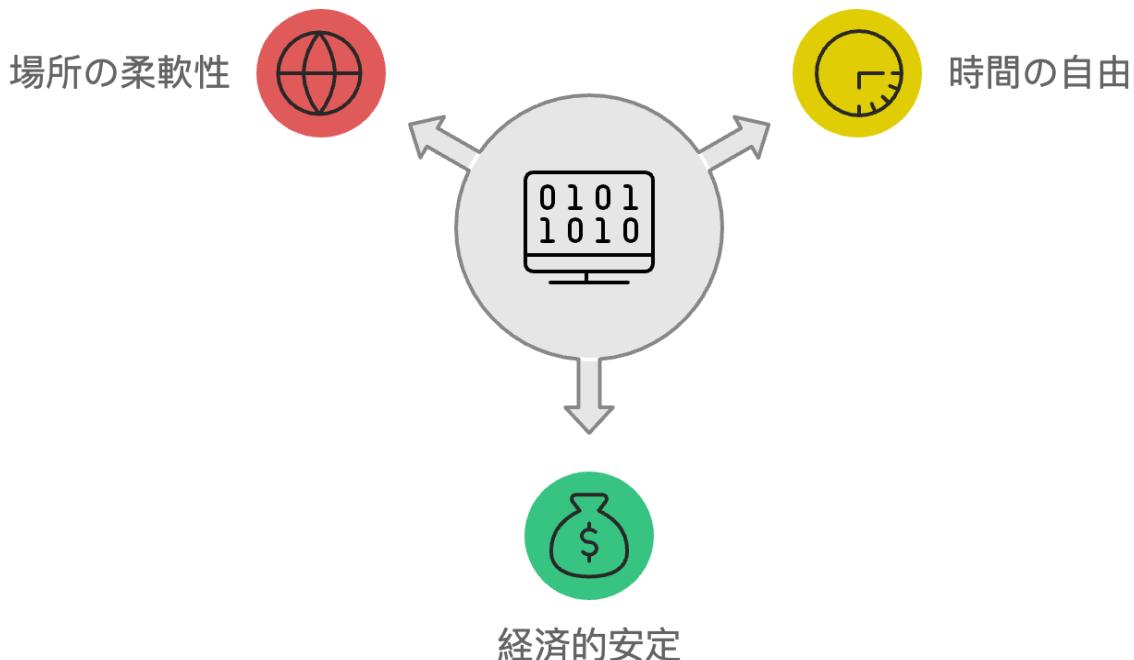
つまり…今は最もニーズが高く勉強しやすい環境が整っている状態なんです！プログラミングを勉強してエンジニアになるなら、むしろ今が大チャンスです。

時間・お金・場所…目的別に理想のエンジニアになる方法

エンジニアの働き方は非常に多様で、時間や場所に縛られず、自分に合った働き方を選ぶことができます。特に、エンジニアとして実力を付ければ、雇用形態に関係なく、時間やお金、働く場所の自由を手にすることが可能です。ここでは、目的別に理想のエンジニアになるための選択肢を紹介します。

⁴ 日経新聞(2022年)「リスキリング支援「5年で1兆円」岸田首相が所信表明」
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA30ACD0Q2A930C2000000/>

理想のエンジニア



1. 時間の自由を求めるなら

「自分のペースで仕事をしたい」「時間に縛られたくない」という人には、フリーランスという選択肢があります。フリーランサーの魅力は、時短で働くことや、自分のスケジュールを自由に管理できること。さらに、正社員よりも稼ぎがいいことが多く、リモート勤務が許されるケースも一般的です。

ただし、正社員でもフレックスタイムやリモートワークを取り入れている企業は増えています。特にエンジニア業界では、リモートワークが普通になりつつあり、正社員として働きながらも、時間の自由を確保することは十分可能です。実力があれば、雇用形態に関わらず、自分のライフスタイルに合わせた働き方が実現できるのです。

2. 経済的に安定したいなら

「安定した収入が欲しい」「経済的な不安を抱えたくない」という人には、正社員として働くのが最適です。正社員のメリットは、毎月の安定した収入が得られること。さらに、有給休暇や祝日などの福利厚生も整っており、経済的な安心感が大きいです。

また、チームとコラボレーションしやすい点も正社員の強みです。特に大規模なプロジェクトでは、チームメンバーとの密なコミュニケーションが求められるため、社内で働く環境が有利になることもあります。

フリーランスに比べると経済的安定性が高い一方で、収入アップのスピードは多少緩やかかもしれません。ただし、経験を積めば給与が上がる可能性も高く、特定の技術やポジションに特化することで、さらに高収入を目指せます。

3. 好きな場所で働きたいなら

「都会の喧騒を離れて働きたい」「海外で仕事をしたい」という場所の自由を求める人にとって、リモートワークは理想的な選択肢です。エンジニアの仕事はパソコンとインターネットさえあればどこでもできること、また他国でも需要の高さから就業ビザが他の職種よりも比較的おりやすいなど、場所にとらわれない働き方が可能です。

正社員であってもリモートワークを取り入れている企業は多く、エンジニアであればフルリモートで働くことができる環境も増えています。都市部から地方へのIターンやUターンを考えている人も、リモートワークであれば地方に住みながら都市部の企業とつながり続けることができ、収入面でも安定したキャリアを築けます。

フリーランサーであれば、正社員よりも場所の自由度がさらに効きやすいといえます。また海外で現地の企業に就職するのはビザや言語の壁があるためハードルが高いけれど、フリーランサー契約であれば外資・日系どちらでも比較的仕事を得やすいです。

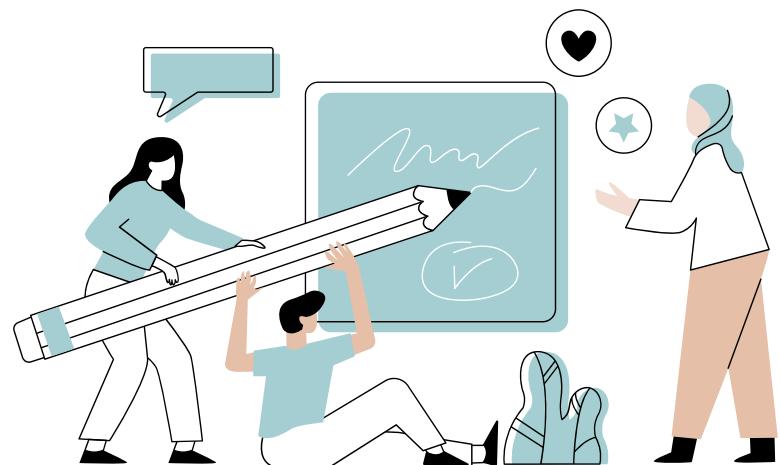
エンジニアという職業は自分のライフスタイルに合わせて働き方を自由に選べる柔軟さが魅力です。自分が求める「時間」「お金」「場所」の優先順位に応じて、最適な働き方を見つけましょう！

この本を通じて、理想のエンジニアライフを手に入れるための具体的なステップと一緒に見つけていければと思います。

第1章

エンジニアになるまでの 全体像

ゴールから逆算して、
キャリアプランの戦略を立てる



エンジニアになるまでの全体像

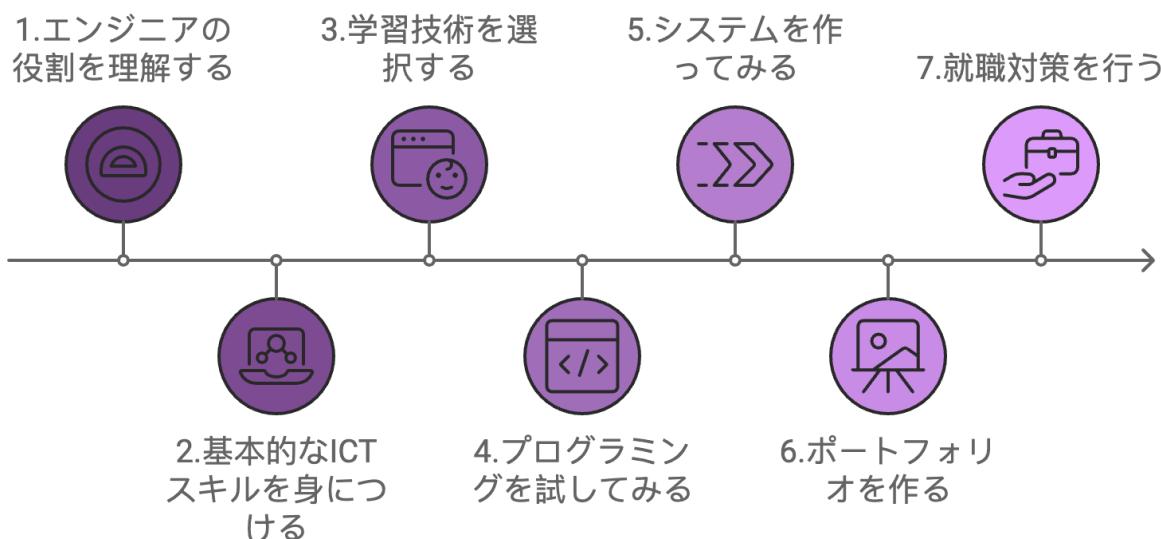
前の章でご紹介したように、エンジニアになるためにはたくさんある情報の中から適切なもののだけを取捨選択しなければいけません。何を選択するかと同時に、何を選択しないかも含めて考えた上で正しい努力をしましょう！

180日間の大まかな流れ

この180日という数字の根拠は過去に私が実施した統計分析を元にしています。未経験からエンジニアに転職した人210人を対象に行なったこの分析によれば、平均530時間程度の学習時間で1~2社からエンジニア職の内定を獲得しています。（※⁵）

1日3時間の勉強であれば177日で達成できる学習量です。どうでしょう、現実的にできそうに思えてきませんか？

というわけで、本書では平均値程度の能力の人が1日3時間程度を費やしたとして、180日後にエンジニアになれる具体的なロードマップを示します。



⁵ ※ 堀口セイト(2022)「プログラミング未経験者がWeb/ITエンジニアに転職するためには何をしたらいいのか？」を統計的に分析してみた! <https://zenn.dev/seito/articles/8f5ce6bee847c2>

エンジニア転職は誤解だらけ。いつまでも成功しない人の特徴

先ほど需要が高いと言いましたが、とはいえる簡単ではありません。エンジニアを目指して勉強し始めたものの、途中で挫折し諦めてしまった人も少なくないでしょう。なぜそんなことが起きるのかといえば、多くの人がエンジニアの仕事・必要な能力・勉強の仕方について誤解しているからです。

一つ例を上げましょう。私があるイベントでゲストで呼ばれたとき、後半の懇親会で一人のエンジニア転職志望の方が相談に来られました。たくさん勉強してアウトプットも作っているのに書類選考でまったくうまくいかない…と。

学習量は相当なものでよく頑張られている方だなと思いましが、よくよく聞いてみると言語選びと就活サイト選びを大きく間違わっていました。

彼はHTML/CSS/JavaScriptで複数のWebサイトを自作し、それをポートフォリオとして履歴書と共に企業に送っていました。これらの言語はクライアントサイドと呼ばれる領域で用いられる言語ですが、エンジニア志望であればPHP,Ruby,Python,Javaといったサーバーサイドで動作する言語の学習が必須です。

就活で用いていたサイトについても彼はマイナビやリクナビを使っていると言っていましたが、これらは業界問わず知名度が高い媒体ですが、IT業界向けの未経験OKのエンジニア求人には強みが少ない媒体です。

彼の場合、独学でここまで勉強できている時点で上位20%の学習者といえましょう。ただでさえ一人でエンジニアリングの勉強をするのはモチベーション的にも効率的にも大変です。ですが、そんな人であっても企業にアピールすべきスキルや就活媒体を間違えたせいで、書類選考から全く進めない状況でした。

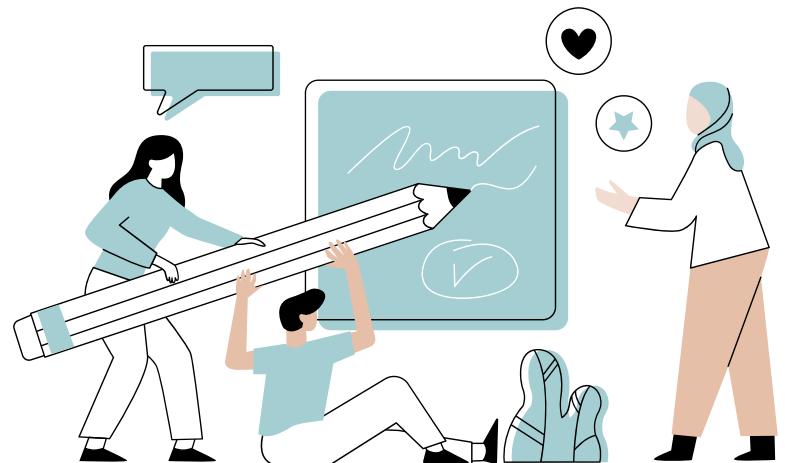
この例が示すように、エンジニアになるためには正しい努力と適切な選択が必須です。本書では皆さんのが最短でエンジニアになり自己実現するためのメソッドをデータも交えながら示します。ぜひ最後までチェックしてください！

第2章

ロードマップ序盤

(1~11日目)

何を選択して、何を選択しないか



ロードマップ序盤（1~11日目）

Step 1. 業界やエンジニアについて理解する（1日目）

まず最初のステップはエンジニアという職業や業界についての理解を深めることです。「エンジニア」と一口に言っても、その働き方や分野は多種多様です。例えば、ベンチャー企業で自由度高く働くWebエンジニア、ゲーム開発を専門とするゲームエンジニア、あるいは大手企業でシステム構築に携わるシステムエンジニアなど、選択肢は無数にあります。

あなた自身が目指すエンジニア像をしっかりとイメージし、それに向けた学習のみを行いましょう！

受験に例えるとわかりやすいかもしれません。志望校に合格するためには、その学校が求める能力や試験形式をしっかりと把握し、傾向と対策を練る必要があります。エンジニア転職も同じで、どんな会社のどんなエンジニアになりたいか、そのためにどの技術を学ぶべきかを明確にすることが成功への近道です。

これについてはインターネット上や専門誌などで情報収集してもいいですが、本書にも十分な記載があるためここで学習してしまいましょう。

Step 2. 基本的なICTスキルを身につける（2~10日目）

次に、エンジニアとしての学びを始めるために、まずは基本的なICTスキルを身につけましょう。ここでは、タイピングや基本的なパソコン操作をしっかりとマスターすることが目標です。具体的にはe-typing(<https://www.e-typing.ne.jp/>)というサイトで107点以上を目指しましょう。

具体的には、中学レベルの英語を理解しておくと、プログラミングの学習がスムーズになります。プログラミングのコードが吐くエラー文や技術ドキュメントの多くは英語で書かれているためです。

しかし英文のレベル的にはそこまで難しいものではなく、またGoogle翻訳などのツールを使えば解読はしやすいです。そのため英語力というより、英語に慣れること、またツールありきでの読解力を身につけましょう！

さらに、タイピングのスピードを上げることや、ショートカットキーに慣れておくことも重要です。私が以前に実施したアンケートでは、プログラミング学習の進捗が平均以上に進んでいる学習者は平均8~10種類のショートカットキーを使っていました。これらのスキルは、プログラミングを学ぶ際に役立ち作業効率を大幅に向上させます。

＜目安＞

- タイピング力：e-typingでのスコア107以上
- 英語力：中学校卒業レベル
- ショートカットキー：8つ以上を使いこなす

Step 3. 学習する技術を選ぶ（11日目）

次に、自分が目指すエンジニア像に合わせて、学習するプログラミング言語や技術を選びましょう！技術選びのポイントは3つあります。

1. 目指すエンジニア像に近い技術を選ぶ

プログラミング言語といっても100種類以上の言語があり、主要なものでも20種類程度あり用途はさまざまです。そのため、自分が興味のある分野、目指したいエンジニア像にそって技術を選びましょう。すべての言語については私のYouTube動画で詳しく解説していますが（※⁶）、一例をここで上げると下記のようになります。

⁶ ※ 堀口セイト(2024)「【2024年最新】主要フロクラミング言語22選！初心者&中級者向けに解説
https://youtu.be/T42JR_VJnWo

ゲーム開発	C#, C++
Webシステム開発	PHP, JavaScript, Ruby, Java
スマホアプリ開発	Swift, Kotlin, Dart
AI・データ分析	Python, R

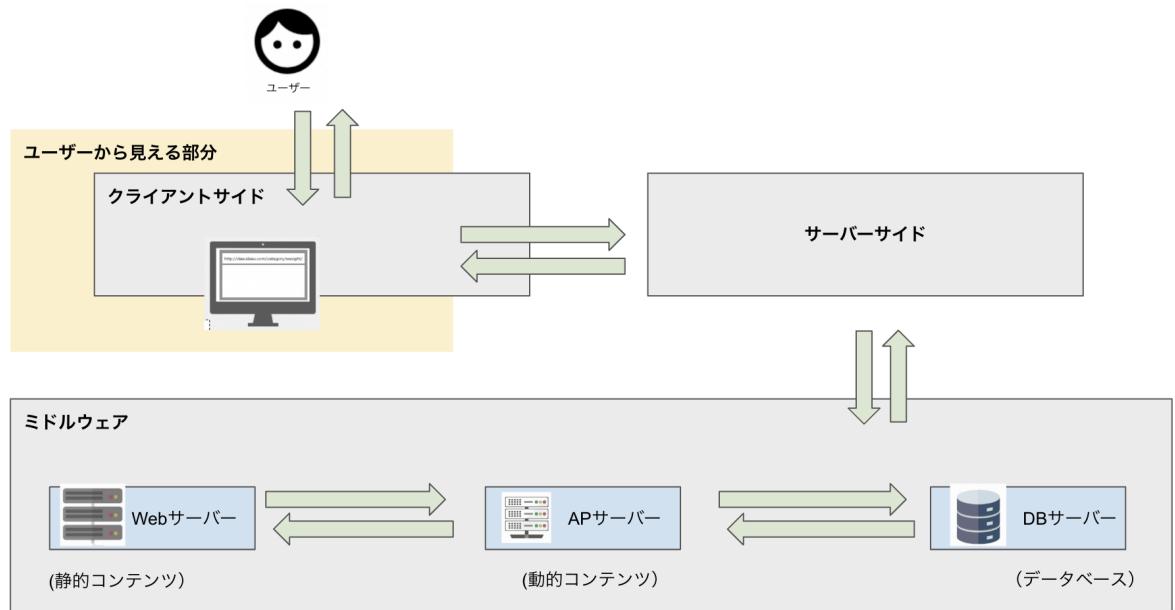
例えばC#はゲーム開発ではよく使われますが、Webシステム開発では近年あまり使われません。一部の教育機関では初学者にC#を教えていたりしますが、ゲーム開発に進まないのであればベストなチョイスとはいえないでしょう。

2. まんべんなく、重複なく選ぶ

アプリやシステムを開発するには複数の言語や技術の習得が必要ですが、1分野につき1技術学ぶのが効率的です。

例えばWebシステムの開発をざっくり分解すると、主要な要素にクライアントサイド（ユーザーが主に見たり操作する領域）、ミドルウェア（データを保存したり送信する領域）、サーバーサイド（クライアントサイドとミドルウェアを連携してさまざまな処理をする領域）の3つがあります。

クライアントサイド	HTML, CSS, JavaScript
サーバーサイド	PHP, Ruby, Java
データベース	PostgreSQL, MySQL
バージョン管理	Git



サーバーサイドの開発であればPHP, Ruby, Javaなど複数の選択肢がありますが、未経験の方はこの内どれか1つに限定してください。エンジニアになったあとは、プロジェクトや用途に応じてこれらを新たに学んだり使い分ける必要が出てくるでしょうが、未経験のうちは用途が被る技術を複数学ぶメリットは薄いです。それよりも1つの言語・技術に絞り深く学習することを強くおすすめします。

3. 未経験からの就職に強く、学びやすい言語を選ぶ

言語の中でも、とくに未経験からエンジニアになるのに有利な言語を選ぶのが重要です。例えば、GoogleトレンドやYouTube検索において最も人気の言語はPythonですが、未経験OKのPython求人はさほど多くありません。どちらかというと経験者向けか、あるいは機械学習などの専門性の高いAI・分析領域での仕事に偏っています。

ではどんな言語が就職で有利なのかといえば、JavaScript, PHP, Ruby, Javaあたりが有力候補です。この4つは求人数の多さで多くの媒体で毎年上位TOP5に入る言語であり、仕事を見つけやすいという意味で有利といえるでしょう。

まずクライアントサイド開発を行う上でJavaScriptは必須ともいえる言語なので、ここは抑えておきましょう。問題はサーバーサイド領域からPHP, Ruby, Javaのどれを学ぶか？という問題です。

	メリット	デメリット	主な市場	求人件数(※ ⁷)
Java	<ul style="list-style-type: none">・圧倒的な求人件数を誇る・作れるものが多岐にわたる	覚えることが多く難しい	<ul style="list-style-type: none">・大手企業, Sier, SES・金融など比較的硬い業界	17,186件
PHP	<ul style="list-style-type: none">・多くの求人がある・覚えることが比較的少なく、開発ツールも充実して学びやすい	最小限の知識で済んでしまうため、より高いレベルの仕事に就こうと思った場合はさらなる研鑽が必要	<ul style="list-style-type: none">・飲食や旅行系など比較的柔らかい業界・ベンチャー企業・Web制作業界	17,368件
Ruby	<ul style="list-style-type: none">・多くの求人がある・覚えることが比較的少なく、開発ツールも充実して学びやすい	最小限の知識で済んでしまうため、より高いレベルの仕事に就こうと思った場合はさらなる研鑽が必要	<ul style="list-style-type: none">・飲食や旅行系など比較的柔らかい業界・ベンチャー企業	12,038件

ここまで絞ったらあとはほとんど興味や好みの問題になってきますが、私のおすすめはPHPかRubyです。なぜかといえば、とくにこれといった目立つデメリットがないことに加え、選択肢の幅が最も広いからです。

とくにPHPの場合、システム開発で採用されるのはもちろん、WebサイトやECショッピングの作成案件では殆どの場合PHPが採用されるため、開発企業に加えWeb制作や広告業界なども就職先の選択肢に入れやすいといえます。

Javaはメリットも大きくおすすめできる言語のひとつですが、硬めの業界で採用されることが多く、本書のサブタイトルである「場所や時間にとらわれない働き方の実現」からは少々遠ざかるかもしれません。

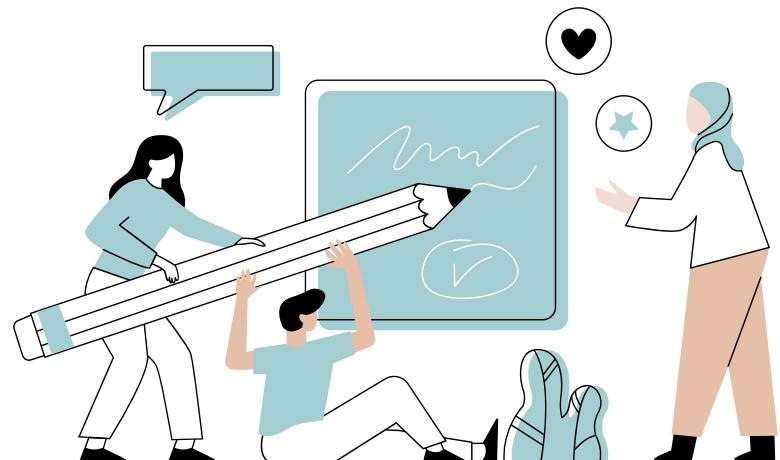
⁷ ※ Wantedly (2024年) <未経験可のエンジニア求人を引用><https://wantedly.com/>

第3章

ロードマップ中盤

(12~90日目)

プログラミングほか、
実務で役立つシステム開発を学ぶ



ロードマップ中盤（12~90日目）

Step 4. Webブラウザ上でプログラミングチュートリアルを一周する（12~30日目）

学習言語が決まつたら、次は実際にプログラミングを試してみましょう。最初は ChromeやEdge、SafariなどのWebブラウザ上でプログラミングを体験できるサービスを活用します。たとえば、ProgateやPaizaラーニングといったオンライン学習プラットフォームは、初心者にやさしく無料でも利用できるため、ステップバイステップで学べるのでおすすめです。

サイト名	タイプ	URL	内容
Progate	Webサイト	https://prog-8.com	言語別にプログラミングを学べるサイト。ゼロイチから始めるのにうってつけ。
Paiza ラーニング	Webサイト	https://paiza.jp/works	プログラミングのアルゴリズム問題がレベル別（D～S）に掲載されているサイト。
Paiza スキルチェック問題	Webサイト	https://paiza.jp/challenges/info	試験タイプの腕試し問題がレベル別に掲載されている
Paiza レベルアップ問題集	Webサイト	https://paiza.jp/works/monday	解説付き・回答付きの問題集サイト。

ここでの目標は、プログラミングの基本的な概念を理解し、簡単なコードを書けるようになることです。ただし、これらのプラットフォームはあくまでも「プログラミング」を学ぶことに特化しており、システム開発の実践的なスキルまでは網羅ていません。そのため、いくらProgateを何周しても、実際にシステムを作れるようになるわけではありません。

プログラミングの基礎が理解できたら、すぐに次のステップに進むことが重要です。最初から「完璧に理解しよう」とせず、むしろ一度全体をざっくりと学んで、その後実際にシステムを作りながら学び直すことのほうが、効率的にスキルを身につけられます。

目安としては、Progateで先ほどご紹介したクライアントサイドの言語（HTML、CSS、JS）、サーバーサイド言語いずれか1つ、またデータベース技術（PostgreSQL or MySQL）についてのセクションをそれぞれ1周しインプットします。

Progateは演習問題もありますが、どちらかというとインプット中心の教材なのでこれだけでは不十分です。そこで、これに加え選んだプログラミング言語の「Paizaスキルチェック問題」を解きましょう。できればランクDの問題を最低でも5問ずつは解けるのがベストです。もし難しいと感じたら解説付きの「Paiza レベルアップ問題集」も合わせて参照してみてください。

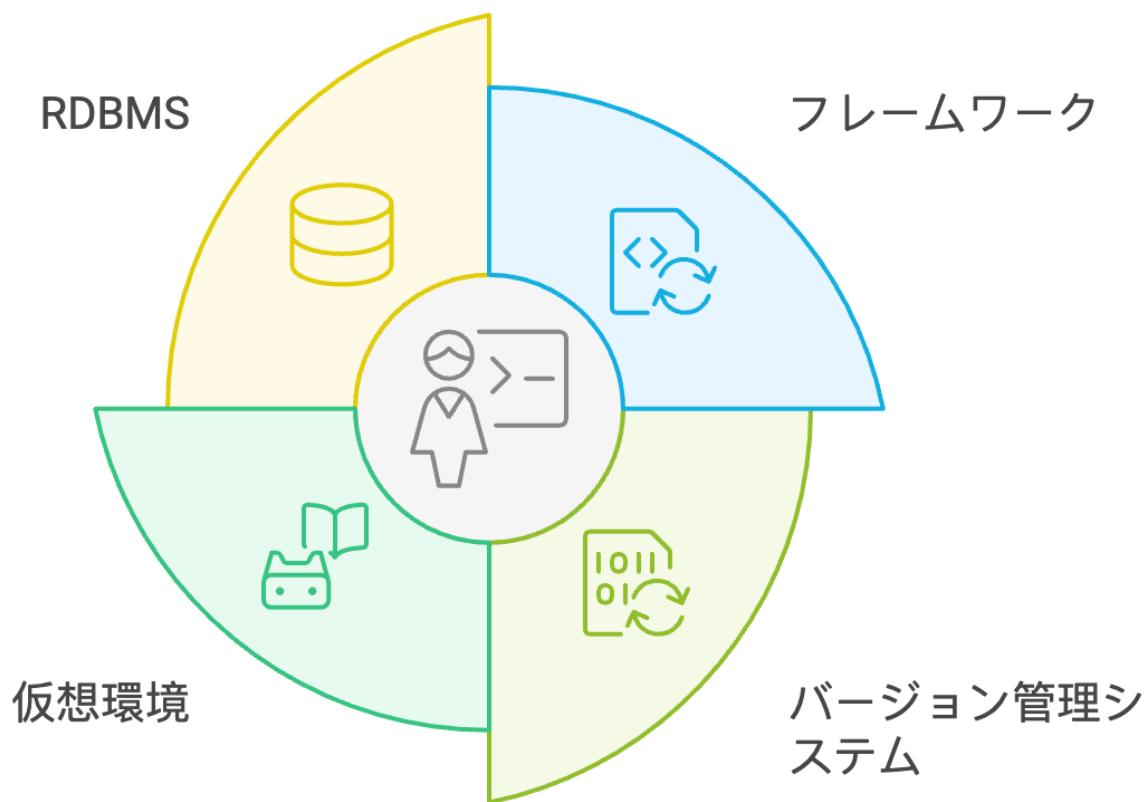
また言語ごとに書籍で体系的に学ぶのもアリでしょう。下記にこのステップでのおすすめの教材を示します。よければ参考にしてみてください。

教材名	タイプ	URL	カバー領域
現役エンジニア&インフルエンサー セイト先生が教えるプログラミング入門	書籍	https://amzn.asia/d/2sliaQ5	HTML, CSS, JS, システム開発全般
独習Java	書籍	https://amzn.asia/d/3LFcNxp	Java
独習Python	書籍	https://amzn.asia/d/2jcygyB	Python
独習PHP	書籍	https://amzn.asia/d/c2KtzHX	PHP
独習Ruby	書籍	https://amzn.asia/d/3AA9jz4	Ruby

Step 5. システムを作ってみる（31~90日目）

Progateなどのオンライン学習サイトでは、プログラミングの基礎を練習することができますが、実際の「システム開発」を行うためのスキルまでは身につきません。次のステップとして、プログラミング言語に加え、周辺ツールや技術を活用して、実際に何らかのプロダクトを完成させることが重要です。

この段階で抑えておくべき技術は以下の4つです：



1. フレームワーク : Laravel, Rails, Spring Bootなど

PHPならLaravel、RubyならRails、JavaならSpring Bootなど、自分が選んだ言語に対応したフレームワークを学びましょう。フレームワークは効率的な開発を可能にし、実際のプロジェクトでもよく使用されます。

2. バージョン管理システム：Git

プログラムのバージョン管理は、チーム開発でも個人プロジェクトでも必須のスキルです。Gitを使ってコードの管理や共同作業ができるようになることが重要です。GitHubやGitLabを使って、実際に自分のプロジェクトを公開しましょう。

3. 仮想環境：VirtualBox、Dockerなど

システムを構築する際、仮想環境を使って開発環境を再現するスキルも必須です。Dockerなどのツールを使って、実際に動作する環境を作成する方法を学びましょう。

4. RDBMS：PostgreSQL、MySQLなど

データの取得・保存・更新・削除など行うデータベースの操作も実際のシステム開発では欠かせません。リレーショナルデータベース（RDBMS）を使って、データを保存・管理する方法を学び、SQLの基本操作を習得しましょう。

これらの技術をマスターすることで、単なるプログラミングから一歩進んで、実際に動くシステムやアプリケーションを開発できるようになります。ここでは、「ブログ」「ToDoアプリ」「ECサイト」といったシンプルなプロダクトを作ることが一般的な題材としてオススメです。これらを完成させることができれば、就職活動でも十分アピールできるポートフォリオが作成できます。

教材としては、UdemyやYouTube、書籍など、自分に合ったものを選ぶことが大切です。まずは目次や冒頭部分を確認し、自分の理解度やスキルレベルに合っているかどうかをしっかり見極めましょう。また教材を選ぶ際は、できるだけ新しいものを選ぶのもポイントです。技術は日々進化しているため、2年以前の教材だと情報が古く、最新の技術トレンドに対応していないこともあります。

また何かしらのお題に基づいて、プロダクトを「完成させる」ことが重要です。単なるチュートリアルで終わらせず、自分の手で最初から最後まで動くものを作り上げましょう。プロダクトを作りながら、学んだ知識を実際にどう使うかが身についていきます。

それを踏まえた上で下記にこのステップでのおすすめの教材を示します。よければ参考にしてみてください。

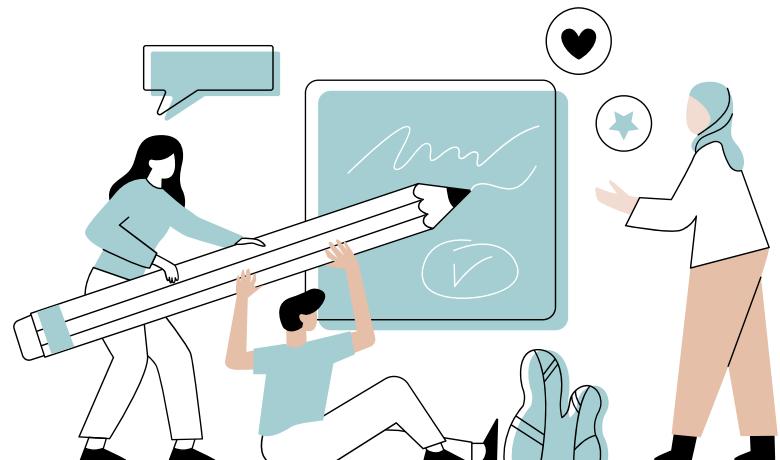
教材名	タイプ	URL	カバー領域
世界一わかりやすい Git, GitHub講座	動画	https://youtube.com/playlist?list=PLLF0C5fk1ILkQBNMn3yNNhxNJfcbbQ31	バージョン管理システム
Laravelの教科書	書籍	https://amzn.asia/d/88vFqTa	PHPフレームワーク、仮想環境、RDBMS

第4章

ロードマップ終盤

(91~180日目)

就職対策を見据え、
技術力×ソフトスキルを磨く



ロードマップ終盤（91~180日目）

Step 6. ポートフォリオを作る（91~120日目）

Step5では教材が指定するプロダクトの完成をゴールに主要な技術を学習することを目的としていました。一方このStepで作るポートフォリオと呼ばれるものは、自身が企画からはじめ実装するシステム開発です。

ただし、ポートフォリオ作成における注意点もいくつかあります。ここでは特に抑えるべきポイントを3つ紹介します。

1. オリジナルのプロダクトであること

まず最初に、ポートフォリオはオリジナルのプロダクトであることが必須です。市販の教材やチュートリアルをそのまま真似たものではなく、あなた自身が独自に企画し、設計・実装したものでなければなりません。

正直なところ、教材に載っているシステムをそのまま作ることはさほど難しくありません。とくに近年では生成AIも充実しているため、ほとんど自分でコード書かなくても作れてしまうのです。

そこで企業は、あなたが本当にシステム開発する能力があるのか、勉強しているのかを評価したいと考えています。

そのため、ポートフォリオにはこだわりポイントやなぜそれを作るに至ったかのバックグラウンドも折り込みましょう。こういった内容は面接で深堀りされる可能性が十分にあります。

2. まんべんなく機能を揃える

次に、ポートフォリオには「まんべんなく機能を揃える」ことが求められます。たとえば、一般的なシステムがよく持っている機能を示す言葉にCRUD（Create、Read、Update、Delete）という用語があります。要するに「データを作成・保存したり、取

得したり、更新したり、削除できる」という意味ですが、こうした基本的な操作が実装されていることが重要です。

これらは、ほぼすべてのアプリケーションで使用される機能であり、実際の開発現場でも頻繁に使われるものです。技術的に難しいことをアピールしようとするよりも、実際に使える機能が揃っていて、しっかりと動作することを優先しましょう。

3. 伝わりやすく紹介する

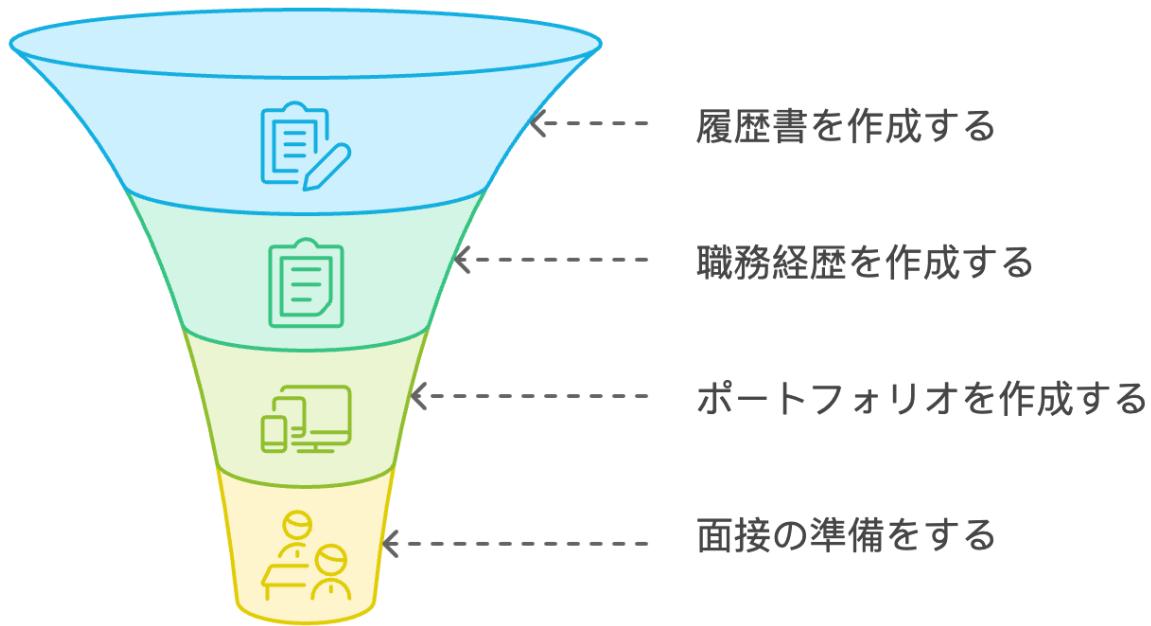
最後に、作成したポートフォリオは「伝わりやすく紹介する」ことが大切です。どれだけ素晴らしいプロダクトを作成しても、それを採用担当者に適切に伝えられなければ意味がありません。具体的には、ポートフォリオにプロジェクトの説明や使用した技術、工夫した点、苦労した点などを明確に記載することがポイントです。

またエンジニア専用のプラットフォームであるGitHubの自身のアカウントにて、ポートフォリオの説明をテキストの他スクリーンショットや図で説明することも有効です。これについては下記の記事がわかりやすく具体例を示してくれていますのでよければ参考にご覧ください。 (※⁸)

Step 7. 就職対策・活動を行う（121~180日目）

最後のStepは就職活動に向けた準備です。ここまで学んできたスキルをしっかりとアピールするために、履歴書や職務経歴書を作成し、模擬面接で対策を行います。就職活動では、技術力だけでなく自己分析やビジネススキルも重要です。自分の強みを明確にし、面接官にしっかりと伝えられるように準備しましょう。短い面接時間で自分の価値を伝えるには、しっかりと準備しておくことが大切です。

⁸ ※ 株式会社ダイアログ(2020)「未経験者が自社開発企業に就職するためのREADME書き方」
<https://qiita.com/teruis/items/64fcf585f02162fa2f3b>



多くの場合、日系のIT企業は書類選考と平均2回の面接で合否を出します。日程調整や検討の時間を踏まえると、1社につき書類選考から内定まで最短でも3週間程度はかかるでしょう。

また冒頭でも述べた転職成功者向けに行った分析では、求職者は内定1社を獲得するまでに平均20社に応募していることがわかっています。

それを踏まえると、書類作成を直ちに行った後は他の準備と並行して早々に志望企業にエントリーするのが良いでしょう。

「技術さえあればエンジニアとしてやっていける！」と思っている人もいるかもしれません、実際にはそれだけでは不十分です。エンジニアには技術力以外にも、コミュニケーション力や問題解決力が求められます。技術とソフトスキルをバランスよく身につけることが、エンジニアとして長く活躍するための鍵です。

それを証明するための方法としてマストで取り入れたい書類選考と面接でそれぞれ1つあります。

書類選考の対策

書類選考においては、作成する書類に簡潔であること・客観的かつ定量的であること をもたせるようにしてください。

簡潔さ：

情報が多すぎると、読む側にとって負担になります。必要な情報を要点に2~3枚以内に 収めるのがベストです。また、ミスなく統一感あるデザインであることも重要です。誤字脱字をなくし、フォントや書式を統一して視覚的にも読みやすいように心がけま しょう。

客観性・定量性：

これまでの職歴やガクチ力を具体的に記載しましょう。これはエンジニアリングに関係 ない話でもかまいません（というか未経験の場合はないのが当たり前でしょう）。ポ イントは5W1Hを使ったり数字を持たせることです。例えばリーダー経験について記載 する場合、「チームのリードとして納期に遅れることなくプロジェクトを完了させ た」というより、「5人からなるチームをリードし、6ヶ月かかりのプロジェクトを納 期に遅れることなく完了させた」と表現するほうが魅力が伝わりやすいです。

実践的な面接対策

面接においては主に技術面とソフトスキル面の質問がされるでしょう。なにより意識してほしいのは面接官に『この人と一緒に働きたい』と思わせることが重要です。彼らは スキルや能力はもちろん人柄の良さなども総合的に考慮し、あなたと働きたい・会社 にメリットがあると判断したときに採用を出します。

技術質問：

技術においてはあくまで未経験者向けの技術質問ですが、エンジニアの仕事・技術への 関心の高さを試されます。これには、自分が作成したポートフォリオに基づいた質問や

普段どんな勉強をしているか、などが含まれます。たとえば、「このポートフォリオのこだわりポイントは?」「今興味のある技術トピックは?」といった質問に対して、具体的に説明できるように準備しておきましょう。

ソフトスキル質問：

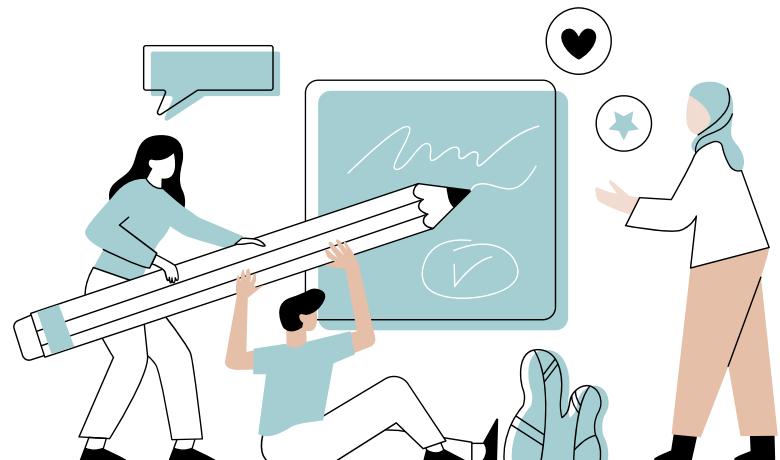
技術的な質問に加えて、面接官はあなたのソフトスキルも見ています。チームでの働き方や、協調性、リーダーシップ、そして問題解決力はエンジニアとして欠かせない要素です。過去の経験を基にして、自分がチームやプロジェクトにどう貢献してきたのか、問題をどのように解決してきたのかを具体的に説明できるように準備しましょう。たとえば、「どのようにしてチーム内の意見の対立を解決しましたか?」や「リーダーシップを発揮してチームを成功に導いた経験はありますか?」といった質問が出た場合に備えて、エピソードを準備しておくと良いでしょう。

最後に、またあなたの能力を示すことに加え、その会社への興味関心を示すことも重要です。志望する会社について十分に調べ、なぜその会社が良いのか、自分がその会社でどんな価値提供できるかを伝えることが大切です。

第5章

初心者が陥りがちな よくある間違い

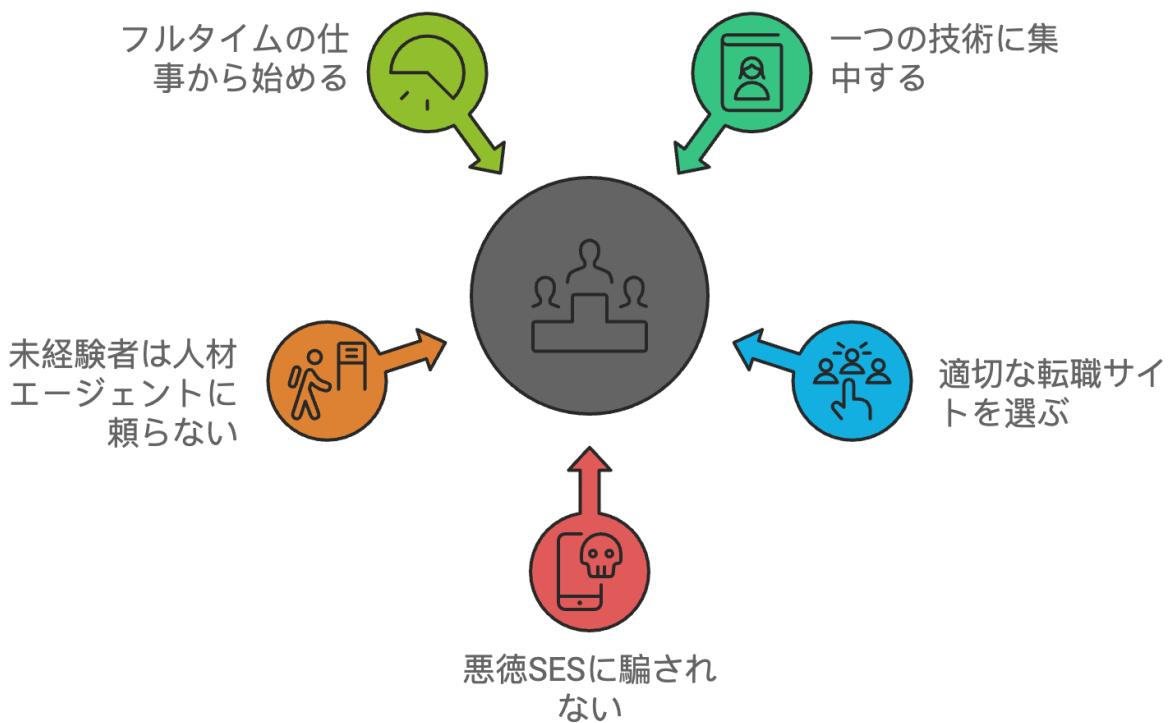
あなたの時間はとても貴重。
無駄な労力をしないよう振る舞おう



初心者が陥りがちなよくある間違い

エンジニアを目指す中で、誰もが一度は陥りがちな間違いがあります。ここでは、その「よくある間違い」を紹介して、あなたが同じ落とし穴にハマらないようにアドバイスしていきます！

成功するエンジニアリングキャリアの重要な要素



1. 学習すべき技術を絞る。浮気しない

エンジニアとしてのスキルを伸ばしたい気持ちはわかりますが、最初はあれこれ手を出すのではなく、一つの技術や言語に集中することが大事です。よくある間違いは「新しい技術が出たらそれに目移りしてしまう」というもの。これではいつまで経っても深い理解に至りません。例えば、最初にJavaScriptを選んだら、ある程度の自信がつくまでは浮気せずに続けましょう。途中で色々な技術に手を出してしまって、浅く広くなってしまい、結果的にどれも身につかないという悲しい結果に…。

2. 転職サイトは適切に選ぼう

転職活動を始めるときに、どの転職サイトを使うかは非常に重要です。すべてのサイトがエンジニアに向いているわけではありませんし未経験OKの求人の有無も大変重要です。リクルートやdodaなどの総合型のサイトは便利ですが、エンジニア転職においては先述の「Wantedly」や「Green」などのサイトを活用する方が、企業とのマッチングがより容易です。無駄な時間を使わないためにも、最適な転職サイトを選ぶことが肝心です。

3. 悪徳SESに騙されないようにする

SES（システムエンジニアリングサービス）は、企業にエンジニアを派遣して仕事をさせる業態ですが、悪徳SES企業に騙されないように注意が必要です。よくあるのが、エンジニアの成長を考えず、ただ人を派遣するだけの会社です。

実際、私のところにもこれに騙されてエンジニアとは名ばかりの単純作業に従事してしまった人からの相談が耐えません。

こういったブラックな会社は少数派ではありますが、一度入ってしまうとキャリアの成長を阻害することになります。SES企業を選ぶ際は、必ず評判や口コミをチェックし、しっかりリサーチすることが大事です。

4. 未経験のうちは人材エージェントは使わない

未経験のエンジニアの場合、最初から人材エージェントに頼るのはあまりオススメできません。人材エージェントが抱える案件の多くは経験者向けで、未経験の人に紹介できる仕事はほとんどありません。

そもそも彼らのビジネスは人材を紹介することで年収の何%かを企業から報酬として得る仕組みなので、求職者の相談にのっている間は無給で、転職を成功させて初めて利益が出る収益構造です。そのため、人材エージェントからするとすぐに転職を決めたい真理が働きますし、企業としてもわざわざ人材エージェントに報酬を払って未経験者を雇うメリットはないのです。

残念なことに、人材エージェント経由で4で紹介したような悪徳SESに就職する方の例も少なくありません。人材エージェントを頼るのはエンジニアとしてある程度経験を積んでからにしましょう。

5. 副業したい場合でもまず就職しよう

「副業でエンジニアをやりたいから、最初から副業だけやればいいのでは？」と思うかもしれません、フルタイムでの実務経験なしに副業だけで成功するのは正直難しいでしょう。

動画編集やバナー広告制作などの仕事と違い、エンジニアの仕事は専門性が高くプロジェクトの期間も長いので、それなりの実績とコミット量が多い人にこそ舞い込んできます。

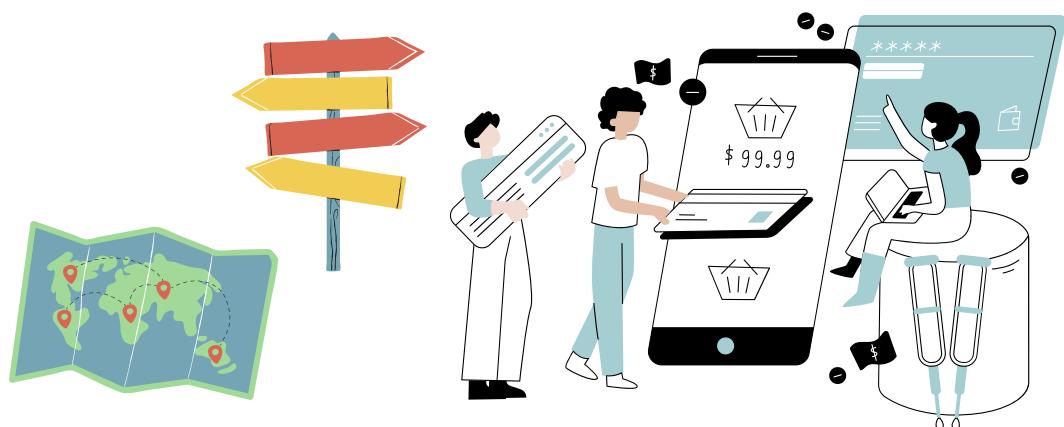
まずはフルタイムの仕事に就き、信頼と実績を積みましょう。

第6章

エンジニアになった後...

エンジニアになるのはスタート地点。

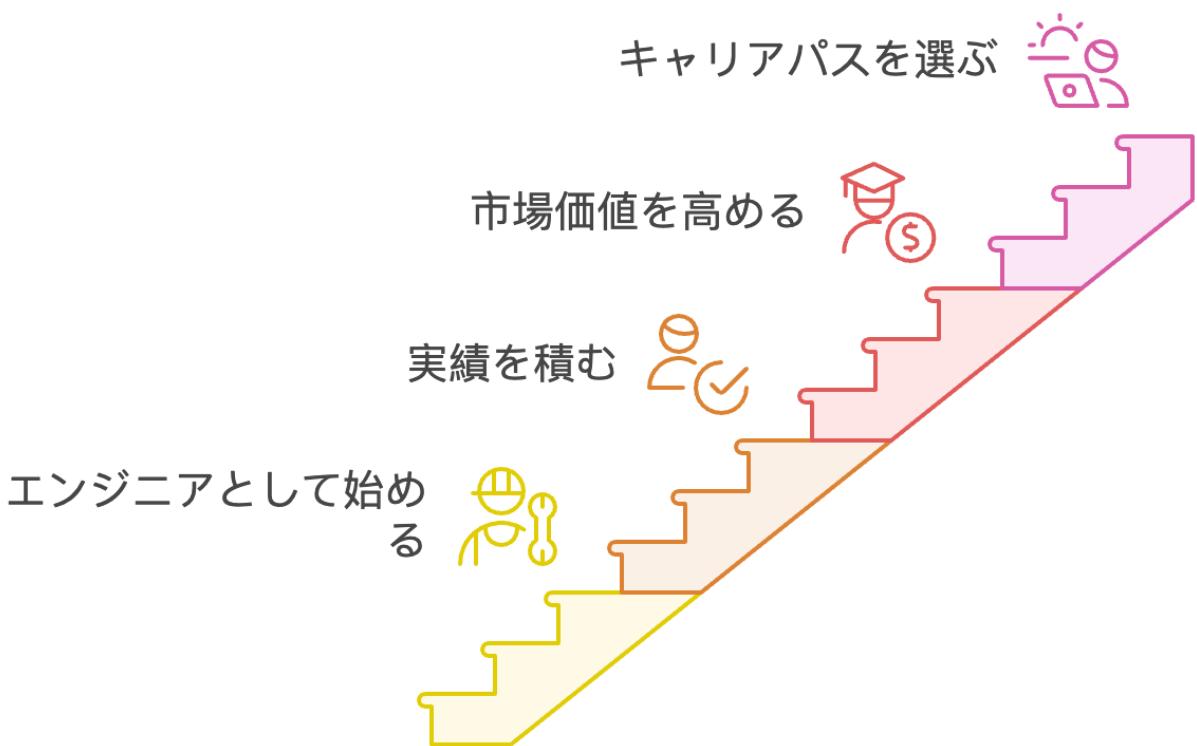
その後はあなたの自己実現フェーズ。



エンジニアになった後...

ここまでステップを実行すれば、まずはエンジニアとして就職できるはずです！エンジニアになるまでの道のりは決して簡単ではありませんが、最初の就職を成功させれば、そこからさらにキャリアを発展させるチャンスが広がっていきます。

エンジニアのキャリアパス



まずは実績を積むことが最優先

エンジニアとして働き始めた後は、どんなキャリアを描くにしても、まずは会社で少なくとも3年間、あるいはそれに準ずる成果を出すことを目指しましょう。これは、多くのエンジニアがキャリアの途中で転職を検討するデータに基づいています。実際、国内のエンジニアの7割が3年内に転職しているというデータもあります（※⁹）。ただし、この「3年」という期間はあくまで目安です。重要なのは期間ではなく、あなたが

⁹ ※ HR TECH LAB(2017)「エンジニアの7割は3年内に転職！？職種ごとに見る勤続年数分布」
<https://hr-tech-lab.lapras.com/knowledge/hr-data-analysis-1/>

何を達成したか、どんな成果を上げたかです。たとえ1年でも、十分な成果を上げて会社やプロジェクトに貢献できたのであれば、それがあなたのキャリアの強力な基盤となります。

逆に、10年間同じ会社で成果を積み上げ続けるのも立派な選択肢です。大切なのは、自分にとってベストなタイミングとキャリアの方向性を見極めることです。

実績を積んだ後は引く手あまた！

特に未経験からエンジニアとしてのキャリアをスタートする場合、最初の仕事に対して多くの条件を求めすぎるのは避けましょう。未経験のうちは、業界での実績がゼロのため、採用される企業やプロジェクトに対して贅沢は言えない部分があります。まずは「エンジニアとして仕事を得ること」が最優先です。最初の仕事を通じて現場経験を積み、実績を作ることで、次のステップへの道が開けてきます。

ただし！一度実績を積み上げてスキルが身についた後は、エンジニアとしての市場価値は格段に高まります。その結果、引く手あまたとなり、フリーランスやリモートワークなど、自分が望む働き方を選ぶことができるようになります。例えば、フリーランスとして自由な時間や場所で働くのも良いですし、大手企業でさらに大規模なプロジェクトに携わることも可能です。

エンジニアのキャリアは多様で、特に実力が付いた後は自分で自由にキャリアをデザインすることができるのが魅力です。どのような働き方や生活スタイルを理想とするのかを常に考えながら、あなた自身のキャリアパスを描いていきましょう。

さいごに

お読みいただきありがとうございました。

頑張るあなたにエール！



さいごに

ここまで読んでいただきありがとうございます。最後に少し私の話をさせてください。

実を言うと、私は最初から優秀なエンジニアだったわけではありません。むしろ、最初の頃は出来の悪いエンジニアの典型でした。プログラムを組むのが遅く、同期の中でも一番後れを取っていましたし、何度も同じミスを繰り返してしまうことが多々ありました。そのため、一時期はプログラミングそのものが嫌いになり、挫折してしまったこともあります。

しかし、エンジニアリングという仕事の魅力を信じていたため、もう一度挑戦する決心をしました。とはいえ、再挑戦してすぐにうまくいったわけではありません。どの学習方法が最適か、エンジニアとして本当に必要なスキルは何なのかを理解するのに、長い時間がかかりました。

そんな中、私が成長するための大きな一歩となったのは、優秀な先輩や仲間たちの仕事ぶりを見て、彼らの考え方やアプローチをひたすら模倣することでした。彼らのやり方を取り入れ、さらに自分なりに試行錯誤を繰り返すことで、少しずつエンジニアとしての実力を伸ばすことができたのです。

だからこそ、今エンジニアを目指しているあなたに伝えたいことがあります。最初は思うようにいかないこともあるでしょう。しかし、それでも諦めないでください。自分に合った学び方を見つけ、少しずつ前進していけば、必ず道は開けます。あなたも、エンジニアとして成功できる日が来ると信じています！

著者紹介

堀口セイト

／合同会社BugFix代表

[SNS]

YouTube:

<https://www.youtube.com/@webit7652>

TikTok: <https://www.tiktok.com/@seito2020>

X: https://twitter.com/seito_horiguchi

GitHub: <https://github.com/seito-developer>

LinkedIn: <https://www.linkedin.com/in/seito>



ミネルバ大学院MDA学部卒業。

学生時代にプログラミングに出会い、Webサイトを作るなどその面白さにハマる。

2012年に大学を卒業後、株式会社LIGにてWebデザイナー・Webエンジニアを3年務めたあと、フィリピン・セブ島にて株式会社LIG Philippinesを立ち上げ、代表・VPoEとして6年間の在籍中に社員数約100名、年商10億円程度のテックチームへ成長させる。

その後2021年に独立し、合同会社BugFixを設立。アプリケーション開発、技術顧問、プログラミング・ITスキル研修を行う傍ら、自身のYouTubeチャンネル「セイト先生のWeb・ITエンジニア転職ラボ」では、プログラミング講座やWeb・IT業界のキャリア情報などを幅広く発信中。YouTubeの登録者数は約13万人で、現役エンジニアでもある。

地方やヨーロッパでのノマドワークも経験したが現在は都内在住。

【無料】 個別キャリア相談のご紹介

【あなたに最適なキャリアプランを30分で考えます】
全くの初心者でも問題ありません。

あなたの悩みや状況をヒアリングさせていただき、
プログラミング学習やエンジニア転職について、
ロードマップを計画するお手伝いをします。



お申し込み

費用：無料

時間：30 - 45分

QRコードを読み取るか「お申し込み」ボタンを押すと
カレンダーが表示されるので日程調整をしてください。

「自分にもできるだろうか？」
「転職活動が不安...」

...などなど。悩んでいる方はぜひ一度ご参加ください◎
お話できることを楽しみにしています！

勝てる エンジニア転職。

- ✓ ビジネス戦闘力の高いIT人材へ
- ✓ 開発スキル～転職までをフルサポート



『プログラミング・ゼミ SiiD』のご紹介

私が代表を務める「プログラミング・ゼミ SiiD」では、
本書でご紹介するようなエンジニアに必要な
「技術力、コミュニケーション力、転職対策支援」 のカリキュラムを
社会人の方・学生の方向けに提供しています。

また経済産業省によるリスキル認定講座でもあるため、
この制度を利用すれば受講料を50~80%抑えての受講が可能です。

<https://bug-fix.org/siid>